

神港学園報

2021
May
第85号



入学おめでとう

Contents

大きな夢、大きな愛 p1 理事長 植村 武雄	「新入生の皆さんへ」 p4 第3学年主任 前田 洋平
縁を大切に p1 校長 中野 憲二	「ご入学おめでとうございます」 p4 生徒会長 是松 陽風
「一歩先へ」 p2 育友会 会長 柳田 一心	退任 p5
一歩を踏み出す p2 金星会 会長 米津 康男	新任 p6
「かけがえのない3年間を充実したものに」 p3 第1学年主任 富岡 浩治	令和2年度 進路状況 p7
「面壁九年」 p3 第2学年主任 本城 智昭	



発行人 学校法人 神港学園

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目19番20号 TEL.(078)241-3135 FAX.(078)232-1570
<http://www.shinko.ed.jp> E-mail. info@shinko.ed.jp

大きな夢、大きな愛

◀◀ Message



理事長
植村 武雄

ご入学おめでとう。理事会を代表して、諸君を心から歓迎します。保護者の皆様、長い間手塩にかけて育ててくれたご子弟の高校進学をおよこび申し上げます。

新入生の皆さんは、小学校・中学校と義務教育で心身のありようを整えられ、人間としての基礎を修得されてこられました。そして、いよいよ高校生です。3年後には卒業され、進路はさまざまですが、社会の大海原に船出されることになります。高校時代というのは、皆さんの人生航路を決める最も重要な3年間といえます。皆さんには高校時代を最大限有意義に過ごしていただきたいと思います。

先日、3回目の緊急事態宣言が発令され、人の流れを抑制するために、行動・移動の自粛を促すのみならず、大型施設への休業要請をはじめ、前回よりも強い措置がとられました。今後の私たちの生活についても、よりいっそうの手指消毒、マスク着用等のガイドライン順守が求められています。

私たちは、足かけ2年に亘りウイルス禍から脱却できず、その制約に心身ともに疲弊して日々を過ごしています。学園生活も例外ではありません。

しかし君達は若く、それ故に環境変化に柔軟に対応する能力が高いと思います。私はこの際、制約は避けられぬものと受け止め、しかしうまく折衝をつけて、ピンチをチャンスに、来年度からの高校学習指導要領に謳う「主体的・対話的で深い学び」への備えや、本学園校訓「進取・練磨・礼節」の体得に、自習、自己管理の中で挑戦してほしいと思います。

学園生活で大切なことは、個を尊重し多様な価値観を認め合いながら、相互に信頼し声を掛け合って助けあうことです。

また、何よりも大事なことは、学園生活の中から、生涯の友に出会い友情を育むことです。同窓の仲間として尊重し合い、相手の立場でよく考え、思いやりの心で交流してください。強いきずなは信頼関係があって成り立つものであり、信頼関係はどれほど正直で誠実であるかにかかっている、ということを強調したいと思います。

最後に、新入生諸君に美しく輝いてほしいとの思いから、ご入学に際してのエールを贈ります。「大きな夢を持とう!大きな愛を育もう!」ということです。大きな愛とは、愛の深さというよりも愛の広がりをいいます。博愛です。大きな愛に支えられた夢は、一見ちっぽけに見えるものでも、実は大きな夢です。友達の間で、この大きな夢、大きな愛について語り合ってください。

縁を大切に

◀◀ Message



校長
中野 憲二

新入生の皆さん、入学おめでとう。

皆さんの中学時代最後の1年は、コロナ禍でいろんな行事や部活動の大会が簡素化されたり中止となったりと、多くの逆境を経験してきました。それらを乗り越え、晴れて本校の76回生となるこの日を迎えられたことに、改めてお祝いを申し上げます。

本校は1925年(大正14年)に神戸元町の商店主を中心とする篤志家のご尽力により向学心に燃える子弟に学びの場を与えんと創設されました。これまで97年の長きに渡って歴史と伝統を築き、皆さんが卒業する3年後には創立100周年を迎えることになります。受け継がれてきた歴史と伝統を基礎に神港学園高校は挑戦を続けています。これまでの伝統を受け継ぎ、未来を展望し、さらなる発展をめざすのは、他ならない皆さん自身です。どうか一人ひとり、神港学園高校生としての自覚と誇りを持って、今日から始まる高校生活を送ってほしいと思います。

そして自分の夢を実現させるための努力を重ねていってください。

今のパナソニックの創業者の松下幸之助氏の言葉を紹介します。

「おたがいに、縁あって この世に生まれてきた

そして、縁あっていろいろの人と つながりを持っている」

「経営の神様」といわれ、一代で世界的な大企業を築き上げた人の核心となる言葉です。

松下氏はさらに「不平や不満で心を暗くする前に、縁のあったことを謙虚に喜びあい、その喜びの心で、誠意と熱意をもって、おたがいのつながりをさらに強めていきたい」と続け、出会った縁を謙虚に感謝することの大切さに触れておられます。

神港学園で出会ったのはまさしくその縁の一つです。その縁一つひとつを大切に、さらに縁を広げながら、他人を思いやる心、助け合い仲間と支え合う心、両親、家族、友達、先生方、自分を支えてくれている人への感謝の気持ちを決して忘れずに、3年間生活してほしいと願っています。

最後に、忘れないで欲しいことは「命を大切に!」ということです。高校時代は、誰もがさまざまなことに思い悩み、時には挫折も経験します。そんな時、あなたの周りには、必ずあなたを支えてくれる人がいるということを決して忘れないでください。

皆さんのこれからの神港学園での生活が人生の素晴らしいページとなることを期待しています。

「一歩先へ」

◀◀ Message



育友会 会長
柳田 一心

新入生の皆さん、神港学園高等学校へのご入学おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお喜び申し上げます。

皆さんはこれから始まる高校生活をとても楽しみにしていることと思います。この伝統ある神港学園で思い出に残る高校生活を送ってほしいと心より願っています。

さて、皆さんは中学校という義務教育を終えて高校生になったわけですが、中学の時には勉強やスポーツなど様々な「目標」に向かって頑張っていたことでしょう。高校でも、まずは目標を立てることから始めてみてください。継続して目標に向かう人、新たな目標に向かう人がいると思いますが、高校の3年間は中学の3年間よりも早く感じると思います。それは、同じ3年間でも得る情報量や活動量が増えるからです。私からお願いしたいことは、1日1日を大切に、誠実に過ごすことに努力してください。努力することで充実した高校生活が送れると同時に目標に確実に近づくことができると思います。楽しいことばかりではなく、大きな壁にぶつかり、苦しい思いをすることもあります。皆さんには応援してくれる親類、指導してくれる先生方、話を聴いてくれる友達、助けてくれる先輩たちがいます。ひとりじゃありません。あきらめずに壁に立ち向かう努力をしてください。大きな壁になればな

るほど、ひとりで乗り越えるのは困難です。でも、一緒に乗り越える仲間がいれば、きっと乗り越えられるはずです。そこで、もう一つ皆さんにお願いがあります。ぜひ仲間をたくさん作ってください。そして、その仲間を大切にしてください。困っている時は話を聴いてあげてください。今はSNSなどでも簡単に人を傷つけることができます。仲間を傷つけるようなことは絶対にしないでください。もし間違ったことをしても自分の否は素直に認め、「ごめん」と言える人間になってください。これらは必ず自分に返ってきます。たくさん仲間と壁を乗り越えて一歩先へ進める高校生活にしてください。心から応援していますので頑張ってください。

一歩を踏み出す

◀◀ Message



金星会(同窓会) 会長
米津 康男

入学おめでとうございます。

これからの3年間は、社会へ出て行く前の、基礎作りの期間になります。この神港学園に入ったということは、皆さんが最終的に、この学校を選びとったこととなります。自ら選びとった道を、迷わず、前を見つめ、歩いて行ってください。高校生活の中で、疲れたり、苦しかったり、悲しかったりして、前へ進めなくなる時もあります。そんな時、自分の殻に閉じこもらないで、人との交流を続けてください。明るく、前向きに心を開いて歩いていけば道は開けます。人の言葉に耳を傾け、心を決め、行動する。利己心、他者への無関心をなくし、温かな心を持って歩いてください。温かさ、やさしさは、人の心を温め、やる気を起こさせます。日々の生活の中で、決断しなければならぬことに出会います。決断を先送りしたり、自分の代わりに他の人が決めてくれるのを待ったり、その場の雰囲気になびいたりせず、自分で決断をしてください。時々立ち止まり、反省し、目の前の今できることをしてください。正しい行動の一歩を踏み出すことは難しいものです。一歩を踏み出す勇気を持ってください。考え抜いて踏み出しても失敗することはあります。失敗は後になって経験になります。失敗の積み重ねが人生の一つの側面です。多くの経験を積んできた人は、人の痛みがわかり、やさしさ、深さを持っています。人は弱く脆いものです。

追いつめられると崩れます。人間に100%はありません。自分の欠けている所を補い、修正する所が学校です。目標、大志を持ってください。大志があれば、日々の辛さ、苦しさに耐えていくことができます。また、高校生活は、世の中の不条理に抗う力、たやすくコントロールされないための力を培う時期でもあります。同じ考え方を持った者のみでの交流だけでは成長できません。多様な考え方を受け入れ、自らを錬磨し、思い込み、固定観念を無くすよう努めてください。苦しくても、自らの殻に閉じこもらないで、広い通りへ出て、もまれ、磨かれながら、人間の良さも、悪さも、喜びも、悲しみも、苦しきも、高校生活の中で、知り得る限りの思いを味わい、互いの成長につなげてほしいと願っています。

「かけがえのない3年間を充実したものに」

◀◀ Message



第1学年 主任
富岡 浩治

4月8日、296名の新入生を迎えました。入学おめでとうございます。本学園は、今年創立97周年を迎え、100周年に向けて、一人ひとりの個性を大切に教育指導のもと、生徒たちが自分らしさを発揮し、未来に向かって挑戦を続けている学校です。

さて、生徒の皆さんは、今、どんな気持ちですか。期待と不安が入り交じっているのではないのでしょうか。皆さんも知っているように、高校という所は義務教育ではありません。皆さんは自分の意志で本校を選び、入学したのです。まず、このことをしっかりと胸に刻んでください。学問というものは、誰のためでもなく、未来の自分のためにひたすらに追い求めるものです。論語に「遠慮無ければ、近憂あり」という言葉があります。目先のことばかりにとらわれて遠い将来のことを考えずにいると、近い将来必ず困ったことが起きるといことです。幸い高校では困ったことが起こっても、友人や先輩、先生方に相談して指導を受けることができます。これは、学生の特権だと考えてください。社会人になってしまえば、もう誰も親切に教えてはくれません。だからこそ、これからの3年間を無駄に過ごすことのないよう、自分を励まし、努力することが大切なのです。さらに、高校は中学生のままでは通用しません。高校生として相応しいスタイルがあります。我々教員はそのスタイルの形成に粘り強く情熱をもって取り組んでいきます。充実

した楽しい高校生活になるのかどうかは生徒の皆さんの心掛けが非常に大切です。そのためには、生徒の皆さんは失敗を恐れず、素直な気持ちで真正面からぶつかってきて欲しいと思います。

フロイト、ユングと並んで「心理学の三大巨頭」と称されたアドラーは、「人生とはいつでも選択可能なものであり、過去にどんなつらいことがあったとしても、これからどう生きるかには関係がない」と唱えました。「今まで苦手だからやらない」と変えられない過去にこだわってれば何も始まりません。「どうすれば少しずつでもできるようになるか」と未来へ意識を変えようと行動が変わってきます。

「進取」「錬磨」「礼節」の校訓のもと、学年では「『時間を守る』『挨拶を積極的に行う』『身の周りの整理整頓をしっかりと行う』といった基礎基本の徹底」そして、「夢、希望を持って、あらゆる可能性に挑戦し、くじけない心を育てる」「感謝の気持ちを忘れず、他人の立場に立った思いやりのある言動のとれる生徒を育てる」を目標に、かけがえのない3年間を生徒の皆さんと共に邁進する覚悟です。そして3年後には、「神港学園に入学して良かった」と必ず思えるように、おおいに学習し、知識・技術・教養を身につけてください。我々教員一同、妥協無く精一杯のお手伝いをさせていただきます。

「面壁九年」

◀◀ Message



第2学年 主任
本城 智昭

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

「面壁九年」という言葉の読み方と意味はご存じでしょうか？

これは「めんべきくねん」と読みます。ある目的を成功させるために、決めたことを辛抱強くやり続ければ、目的を叶えられる、ということとです。

この四字熟語は、次のような故事がもとになっているようです。

「6世紀頃、正しい仏法を伝えるため、インドから中国にやってきた達磨（だるま）というお坊さんは、国の君主である武帝（ぶてい）に会って会話をかわしましたが、武帝は仏法を受けるのにふさわしくないと諦め、嵩山（すうざん）少林寺にある岩穴の中で、9年間、壁に向かって坐禅を組み、悟りを開き、慧可（えか）という弟子に正しい仏法を伝えた。」という伝説があり、この達磨の様子を元にできた四字熟語が「面壁九年」です。また、達磨が壁に向かって座禅を続けたことにより、手足が腐ってしまったという伝説によって、玩具としての「だるま」ができました。多くは赤色の張子（はりこ）で製作され、手足がなく、顔が大きく、白目

のまま販売され、祈願のため左目に黒目を書き入れ、成就すると右にも黒目を入れる「目入れだるま」の風習が、江戸で文化年間に始まって以降現在も続いています。

受験生の頃、ダルマに合格祈願をした方もいるかもしれません。「受験合格」という目標に何ヶ月も粘り強く努力してきた方も多いのではないのでしょうか。結果もちろん重要ですが、私は受験を通して皆さんが身に付けた「粘り強さ」はこれからの人生において大きな武器になると考えます。途中で諦めない、最後まで目的や目標に向かって頑張る姿勢を高校生活でも継続してください。失敗しても、失敗しても粘り強くチャレンジしてください。たくさんのことを学び、また大きく成長できる機会を得られるはずですよ。

皆さんのこれからの神港学園高校での活躍を期待しています。

「新入生の皆さんへ」

◀◀ Message



第3学年 主任
前田 洋平

神港学園には、様々なことにチャレンジできる環境があり、一緒にチャレンジする仲間がきつというはずでず。神港学園高校の教職員全員、皆さんを心から応援しています。

最後になりますが、3年後、皆さんが卒業していく時、神港学園高校で本当に良かったといえるような充実した高校生活を送ってください。

新入生の皆さん、神港学園高校へのご入学おめでとうございます。また保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さんは、これから始まる高校生活に夢や希望を持っていると同時に、慣れない環境に不安や悩みを抱えていることと思います。しかし、これからの高校生活を仲間とともに過ごしていくうちに、次第に打ち解けられるようになり、きっと楽しく高校生活を過ごすことができると思います。新入生の皆さんもあまり不安を持ちすぎずに、早く神港学園での生活に慣れていってください。神港学園では、中学校とは違い、色々な目標を持った、たくさんの生徒が学んでいます。お互いの立場を考えながら、思いやりを持った行動を心がけ、一人ひとりが楽しい高校生活を送れるように協力してください。

また、高校時代は、様々なことに積極的にチャレンジしてください。様々なことにチャレンジすることによって、自分の特性や能力を把握し、自己理解を深めることができます。また、チャレンジすることを通して、自分とは異なる他の人の考え方や感じ方を知ることで、自分自身の視野を広げることができます。そして、それは新入生の皆さんを人間として大きく成長させるでしょう。

「ご入学おめでとうございます」

◀◀ Message



生徒会長
是松 陽風

一年生の皆さんご入学おめでとうございます。

皆さんはどのような気持ちで新しい制服に袖を通し入学してきましたか？新生活が楽しみな人もいれば不安な気持ちの人もいるかも知れません。でも、神港学園の先生方や先輩方は、一つひとつのことをとても丁寧に教えてくださいます。わからないことがあれば何でも先生方や先輩方に聞いてみてください。きっと皆さんに最適な答えが返ってくるはずでず。

新一年生に私から一言言葉を贈ります。それは、「叩けよさらば開かれん」ということわざです。このことわざの意味は、積極的に行動をして努力をしていく人に道は拓けていくという意味です。私がこの神港学園に入学した頃は、自分は馬鹿だと思い込み、今よりも悲観的な考え方をしていました。でも、高校生活で価値観が異なる人と関わるようになり、自分も悲観的な考え方を変えていかなければならないと強く思うようになりました。まず、自分が取り組んだのは勉強面です。初めから自分ではできないと決めつけず、授業を本気で聞くようになりました。すると、周りにいる先生方が熱心に勉強を教えてくださいさるお陰で成長することができました。テストにおいても全力で取り組むようになり、今では少しずつではありますが、自分に自信が持てるようになりました。一年生の皆さん

も様々なことにチャレンジしてみてください。もし挫折したとしても、そこで諦めてしまうのではなく、今までとやり方を変えて再びチャレンジしてみてください。努力に無駄はありません。これから3年間は一瞬で過ぎていきます。後から後悔しないよう今を全力で楽しみ、文武両道に励んでください。丁寧かつ全力で1日1日を過ごすことと自然と可能性や将来の選択肢も広がるはずでず。これからの学校生活を充実したものにするために私たちと一緒に楽しい学校生活を送っていきましょう。



退任



副校長
田中 清貴

教 科 国語科
平成27年4月～令和3年3月



教諭
河瀬 比呂志

教 科 英語科
昭和59年4月～令和3年3月



教諭
大村 二良

教 科 数学科
平成30年4月～令和3年3月



常勤講師
川又 俊介

教 科 国語科
令和2年4月～令和3年3月



常勤講師
楠本 智哉

教 科 国語科
令和2年4月～令和3年3月



常勤講師
三浦 正裕

教 科 社会科
平成31年4月～令和3年3月



常勤講師
甲斐 阿喜子

教 科 英語科
令和2年4月～令和3年3月



常勤講師
田村 秋穂

教 科 英語科
令和2年4月～令和3年3月



常勤講師
藤原 章子

教 科 英語科
平成31年4月～令和3年3月



新任



教諭
西岡 光信
教 科 国語科



教諭
長谷川 裕介
教 科 数学科



教諭
関山 善郎
教 科 英語科



教諭
原 明子
教 科 英語科



常勤講師
川島 陽
教 科 国語科



常勤講師
原 正彦
教 科 国語科



常勤講師
請川 和輝
教 科 地歴公民科



常勤講師
井上 公平
教 科 数学科



常勤講師
久原 ルミ
教 科 英語科



常勤講師
杉本 英樹
教 科 英語科



職員
松井 秀範

令和2年度 進路状況

4年制大学合格者 >>>> 176名

Table with 4 columns: University Name,合格人数 (平成30年度, 令和元年度, 令和2年度), University Name,合格人数 (平成30年度, 令和元年度, 令和2年度), University Name,合格人数 (平成30年度, 令和元年度, 令和2年度). Lists various universities and their admission numbers for the 2021-2022 academic year.

短期大学合格者 >>>> 7名

Table with 4 columns: University Name,合格人数, University Name,合格人数. Lists short-term university admissions for 2021-2022.

専門学校合格者 >>>> 80名

Table with 8 columns: 専門学校名,合格人数, 専門学校名,合格人数, 専門学校名,合格人数, 専門学校名,合格人数. Lists vocational school admissions for 2021-2022.

就職合格者 >>>> 53名

Table with 8 columns: 企業名,合格人数, 企業名,合格人数, 企業名,合格人数, 企業名,合格人数. Lists job placement statistics for 2021-2022.